

圧入ケーソン（立坑・基礎）

CITY TEC

アーバンリング工法

アーバンライナー工法

アーバンウォール工法

PCウェル工法

圧入式オープンケーソン工法

都市型多目的圧入工法

アーバンリング工法

適用圧入径 ϕ 3.0M~15.0M

適用圧入深度 70M程度

（立坑・基礎・駐輪場）



国土交通省「公共工事技術活用システム」において、平成19年度より設計段階での比較対象技術に指定されました。



アーバンリング工法とは

近年都市部における地下空間利用は目覚ましいものがあります。ただ都市部であるが故に工期、施工ヤード、周辺環境などの厳しい施工環境への対応が要求されます。アーバンリング工法とは、そのような環境を配慮して開発された地下構造物構築後方でアーバンリング（分割細立型土留壁）を用いた多目的なシステム工法です。

アーバンリング工法の4大特徴

1

周辺地域への影響が少なく、安全・確実
地盤改良が不要で、掘削時の坑内は無人です。周辺環境と作業現場に優しい安全・確実な都市型工法です。

2

狭い施工ヤードに柔軟に対応
施工ヤード幅・面積などの制約条件に柔軟に対応できる都市型工法です。

3

路下・上空制限にも対応できる。
高架下での施工にも対応できます。

4

ビルトリング方式で機動性に優れている
道路上での一時占有帯による施工が可能で、交通ピーク時は道路開放ができます。

使用部材

👍 用途に応じて2つの部材をご用意しております。



鋼製施工

部材が小型軽量であり、
任意の径で施工可能です。

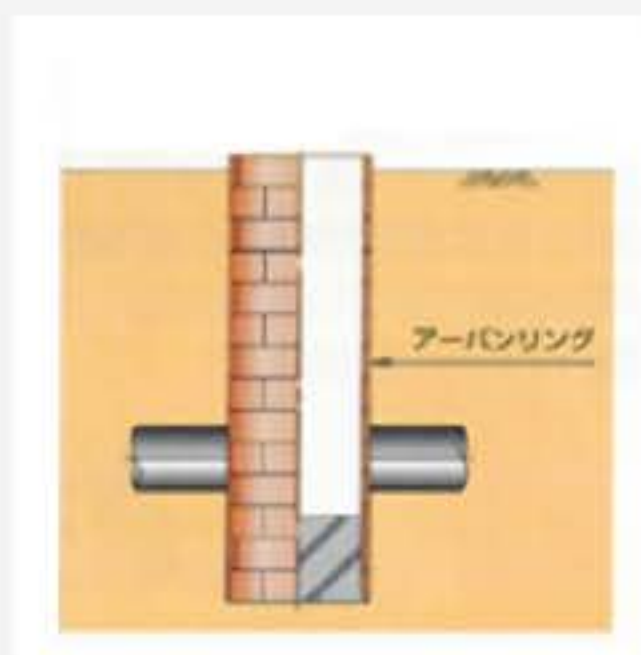


RC施工

直接本体利用できるため、
急速施工が可能です。

用途

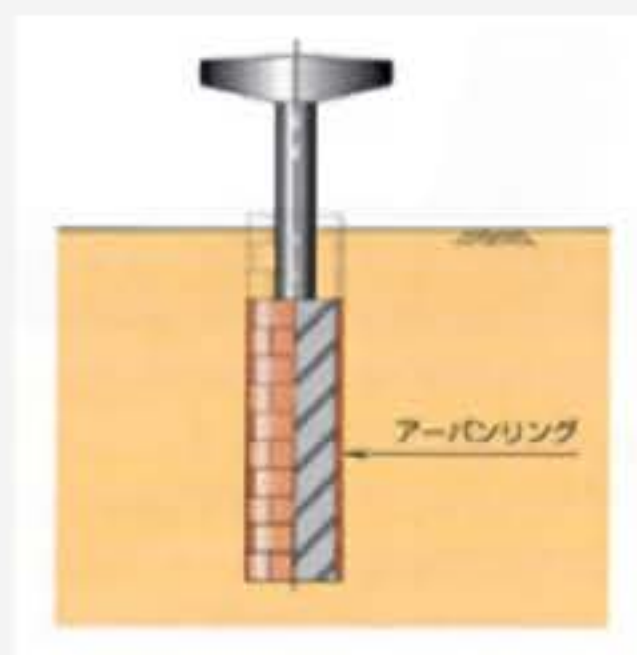
立坑



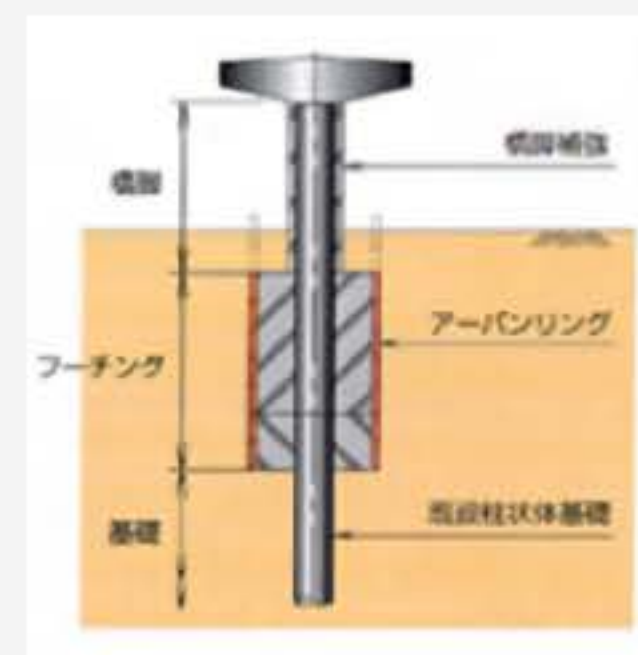
人孔



橋梁下部工



橋脚補強



サポートシステム

圧入工事における様々な問題を解決

圧入工事における、様々な問題を解決すべく、加藤建設独自の視点にて検討開発したサポートシステムです。

圧入技術の根幹となるジャッキシステムから、硬質地盤対応に至るまで、あらゆるニーズに対応すべく、私たちは日々努力を重ねています。



グリップジャッキ

高性能ジャッキ及び制御システムにより、高精度な施工を実現。

[詳しくはコチラ](#)



拡張自在掘削システム

硬質地盤から普通土まで、可動翼により安定した掘削が可能。

[詳しくはコチラ](#)



【低排土式】先行削孔工法

コンパクトで低コストな先行削孔技術を独自開発。

[詳しくはコチラ](#)